（別紙4（2））

グループホーム牧之原波津の家

目標達成計画

作成日： 平成 30年 7月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	言葉遣いに難のある職員もいる。	認知症の事を勉強してもらい、声の音量やトーン、語尾の使い方まで気を使う事を覚えてもらう。施設全体で暖かな言葉が飛び交う事を目標とします。	全体で言葉遣いについて話し合う場を持つ。特に気になる職員については管理者やリーダーと個人的に話し合い、どう直していくかを検討していく。 フロア全体でフォローしていく環境を作る。	12ヶ月
2	40	食事を提供する時に細かな気遣いが出来ていない時がある。	個々に合わせた食事形態、細かな気遣いが出来た食事を提供します。	検食のコメント欄には利用者のコメントばかりではなく、職員の素直な意見も記入していく。 フロア会議の中で検食簿を見ながら検討会を開いていく。	6ヶ月
3	1	朝礼が口頭確認から回覧になったため、新規職員が入社したら理念の把握、共有が出来ているか確認できない。	職員全員で理念を共有します。	新規職員には理念を確認し、覚えてもらう。 職員会議やフロア会議の時に理念が浸透できているか省みる機会を設ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。